

ち男女2人を特定した。こ 川友梨さん(28)▽山梨県 さんが最後の座席から見 赤尾さんの妻とみて調べて 来て8人の身元が判明。捜 笹吹市石和町下平井、無職 つかった。ワゴン車は、山 いる。

気象庁の齋藤誠地震情報 企画官は記者会見し、昨年



ICAPP (国際アジア政党 会議)と呼ばれる国際会議が、 今年はアゼルバイジャンのバク ーで11月22日と23日の両日、行 われた。日本からの参加者は共 産党の緒方靖夫国際局長と私の 2人だけ。急に解散・総選挙と なったため、当初出席を予定し ていた他党の議員の人たちが訪 問を取り止めたからだ。

アゼルバイジャンと聞いても ピンとこない人もいるだろう。 世界最大の湖・カスピ海の西岸 に位置する国だ。石油とキャピ アで有名だ。「風の町」を意味

するバクーが首都だ。

バクーには約2年ぶりだ。ア ゼルバイジャンの文化観光省の 招待で原油浴と岩塩ホテルを取 材しに来たのだ。ちょうど、そ の両方を掲載した旅行ガイドが 12月中旬に発売されるのだが、

## 日本語教育に感心

### アゼルバイジャンを訪問して

見本が出来上がっていたので文 化観光省の副大臣に渡したとこ ろ喜んでいた。

ICAPPの主催者はこの 政権与党である新アゼルバイジ ャン党で、アゼルバイジャン・ 日本友好議員連盟の会長もその

政党内に所属していると聞いたの であいさつをした。会長である 国会議員のマハラモフさんは解 散・総選挙などの日本の最新情 報まで「存じてびっくりした。 理由を聞くと、日本側の議連会 長の自民党政調会長・甘利明先

生と密に連絡を取り合っている と言つ。関係の深さに驚いた。 さらに驚いたのは、マハラモフ さんがアゼルバイジャン最大の 大学のバクー・ステート大学の 学長さんでもあるというのだ。 私が外国の学校を取材する連

載を日本の雑誌に持っているの で次回訪問したいと言ったとこ ろ、「次回ではなく今からどう だ」と誘われ、会議をさぼって 急ぎよ訪問することになった。 驚いたのは、そこには日本語学 科があり、学生さんたちは来日 経験がないのに日本語が非常に 上手だったことだ。日本に興味 を持ち日本語を学んでくれると は、なんとありがたいことか。 こういう人たちを応援しなくて はと思っていたところ、駐アゼ ルバイジャンの渡邊修介大使が 日ごろから応援してくれている と聞き安心した。(石井 至)

いしい・いたる 石井兄弟 社長、東京都在任